

霧島市地域公共交通網形成計画推進事業

(MaaSによる地域公共交通利便性向上実証事業)

※MaaS (Mobility as a Service) : あらゆる公共交通機関について、ITを用いて効率よく、かつ便利に使えるようにするシステム

企画部地域政策課

事業費： 1,330 千円

事業の概要

- 令和3年10月1日から、隼人駅を拠点に小田、小浜、隼人塚団地や商業施設等を循環する「(仮称)隼人循環バス」の実証運行を実施する。
- 車両は10人乗りジャンボタクシーを活用し、定時定路線(週3回・1日4回(左回り2回・右回り2回))による運行である。
- 車両のダウンサイジング化により、幅員の狭い道路を運行することが可能となり、地域ニーズを踏まえたきめ細やかな運行経路を実現する一方で、乗車可能人数が少人数(9人以内)であることから、乗り場によっては、地域住民が利用できない事態が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、車内の混雑緩和や利用分散など3密を防止する取組を推進し、利用者が安心して循環バスを利用できる環境を整備する必要がある。
- このような状況を踏まえ、循環バスの運行情報(運行位置・混雑状況)をウェブ上でリアルタイムに提供するシステムについて、実証実験を行う。

<システム導入の効果>

- ①運行位置をリアルタイムに確認できるため、遅延時における利用者のストレスが軽減される。
- ②利用者は、バス停で待機することなく、車内の混雑状況に応じた行動(例:他移動手段の活用)をとることが可能。
- ③市は、データベース化した運行情報(ODデータ、遅延情報)を本格運行時の基礎データに活用。

<システム画面イメージ>



<事業費内訳>

イニシャル

- ・導入基本料金(機器費用を含む。)
- ・初期設定/データ登録費用
1,143 千円

ランニング

- ・利用費用(2台分)
- ・保守費用(データ改正・サポート・通信費)
187 千円(6か月)